

島根県の地震

令和8（2026）年9月

・震源要素（緯度、経度、深さ、マグニチュード）は暫定値です。後日、再調査のうえ修正されることがあります。

・本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを使用しています。

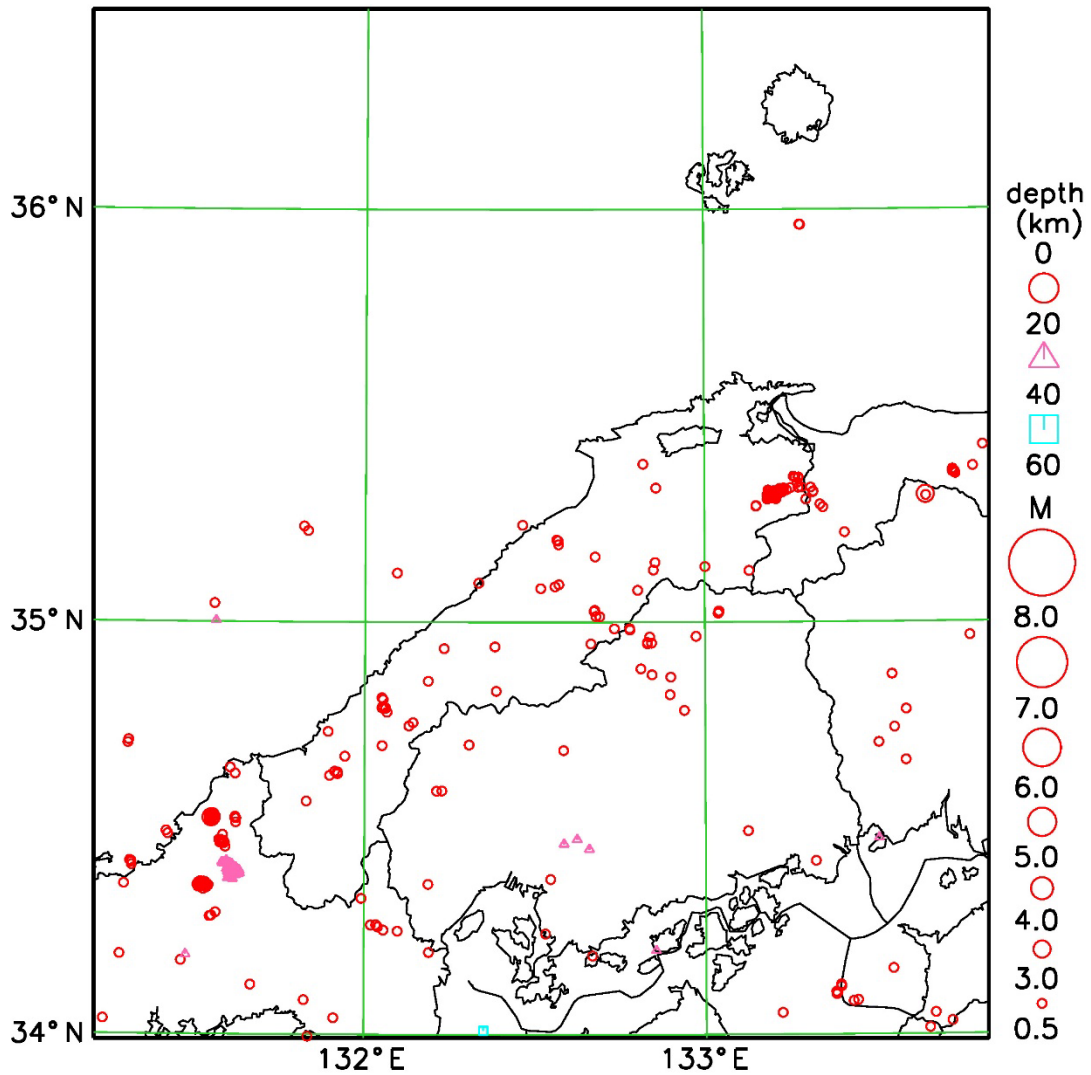
また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、2025年トカラ列島近海における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（平島、小宝島）、EarthScope Consortium の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

松江地方気象台

島根県およびその周辺地域の地震活動 2026年9月1日～30日

2026 09 01 00:00 -- 2026 09 30 24:00

N=528



[概況]

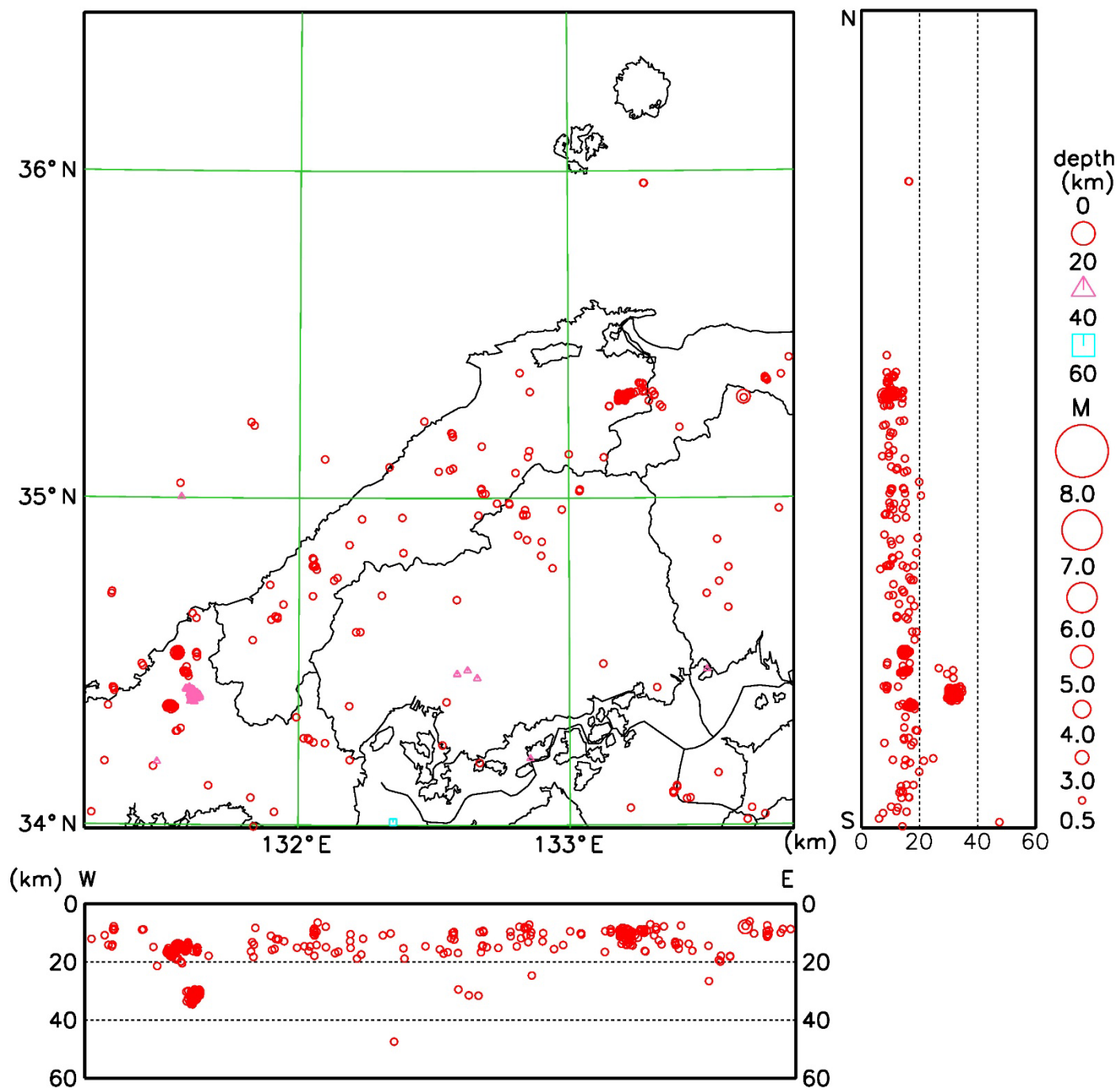
今期間、M0.5以上を観測した地震は528回（8月は355回）でした。

また、島根県内で震度1以上を観測した地震は、1回でした。

21日22時38分 日向灘の地震（深さ36km、M4.8：地図範囲外）により、益田市で震度1を観測しました。また、大分県と宮崎県で震度3を観測したほか、中国・四国・九州地方で震度2～1を観測しました。

[断面図]

2026 09 01 00:00 -- 2026 09 30 24:00



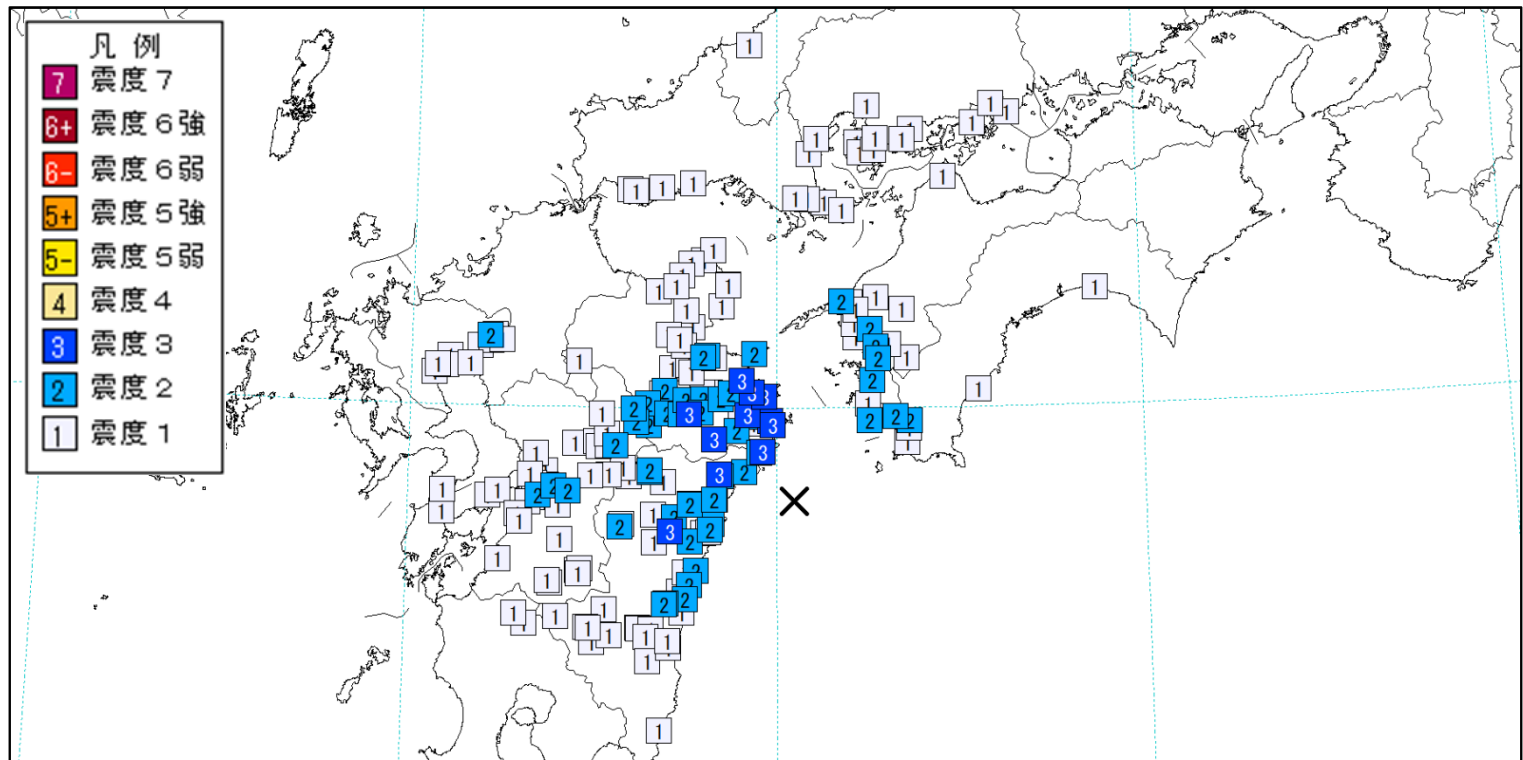
9月の島根県内の地震表（震度1以上）

発震日（年月日時分） 各地の震度（島根県内のみ掲載）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
2026年09月21日22時38分 ----- 地点震度 ----- 島根県 震度 1 : 益田市常盤町 *	日向灘	32° 34.4' N	132° 05.6' E	36km	M4.8

・地点名の後に*がついている地点は、地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

【観測点震度分布図】

2026年9月21日22時38分 日向灘



×印は震央を示す

地震一口メモ

2016年10月21日鳥取県中部の地震から10年 ～地震による突然の強い揺れへの備え～

2016年10月21日に鳥取県で最大震度6弱を観測した鳥取県中部の地震(以下、「この地震」という。)の発生から今年の10月21日で10年となります。今回はこの地震を振り返るとともに、地震による突然の強い揺れへの備えについて解説します。

○2016年10月21日の鳥取県中部の地震

2016年10月21日14時07分、鳥取県中部の深さ11kmでマグニチュード(M)6.6の地震が発生し、鳥取県倉吉市・湯梨浜町・北栄町で震度6弱、鳥取県鳥取市・三朝町、岡山県真庭市・鏡野町で震度5強を観測したほか、関東地方から九州地方にかけて震度5弱～1を観測しました(図1)。この地震により、鳥取県を中心に岡山県、兵庫県、大阪府で、負傷者32人、住家全壊18棟、住家半壊312棟、住家一部破損15,095棟などの被害が生じました(総務省消防庁による)。

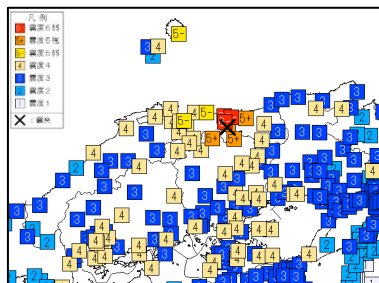


図1 中国地方周辺の市町村震度分布図



被害写真(気象庁現地調査資料より)

左: アスファルト面の陥没(湯梨浜町) 右: 屋根瓦のずれ(北栄町)

○地震による突然の強い揺れへの備え

この地震で観測した震度6弱の揺れに見舞われると、屋内では固定していない家具の大半が移動し倒れる、屋外では壁のタイルや窓ガラスの破損・落下、耐震性の低い木造建築物は瓦が落下したり建物が傾いたりすることがあります。

気象庁では地震による強い揺れから身を守っていただくため、一般の皆様へ緊急地震速報(警報)を発表しています。この地震に対して、最初の地震波検知から12.1秒後に緊急地震速報(警報)を発表しました(図2)。図2の同心円の数字は緊急地震速報の提供から強い揺れが来るまでの猶予時間

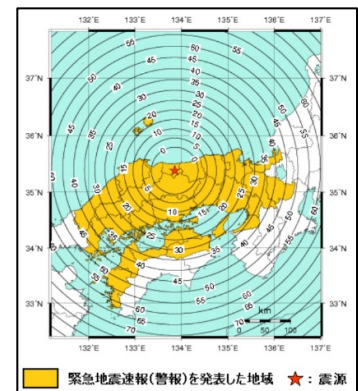


図2 緊急地震速報(警報)第1報を発表した地域及び主要動到達までの時間

(秒)ですが、0秒の同心円より内側は緊急地震速報が間に合っていない地域です。緊急地震速報を見聞きしてから地震

の強い揺れが来るまでの時間は数秒から数十秒しかなく、この地震のように内陸の浅い場所で地震が発生した場合などにおいては、震源に近い場所への緊急地震速報の提供が強い揺れの到達に間に合わない技術的限界があります。緊急地震速報を見聞きした時は、周囲の状況に応じて、あわてずにまず身の安全を確保してください。また緊急地震速報が間に合わない場合等に備え、日頃から強い揺れに対するとっさの安全確保行動を考えておきましょう。

11月5日(木)は緊急地震速報の訓練に参加しましょう!

11月5日の「津波防災の日」・「世界津波の日」の取組の一環として、毎年11月5日に緊急地震速報の訓練が全国的に行われます。揺れから身を守ることが、地震・津波防災の第一歩です。是非自治体等が行う訓練に参加しましょう。訓練の詳細は下記 URL にてご確認ください。

https://www.jma.go.jp/jma/press/2610/09a/20261009_eewkunren.html